

| | | | | |
|---|---|------------------------|-----------------------|--|
| カリキュラム Curriculum | 文学研究科MC | | ナンバリング Numbering | |
| 番号 Number | 科目種別 / 学科目 Course title | 転用科目 Substitute for | 種別 Subject type | |
| 216 | 基層文化論 <Foundation on Culture > | | 演習 | |
| 専攻 Major | 担当教員 Instructor(s) | 開講期 Semester | 開講時間帯 Day and time | |
| 日本文学 | 齋藤 文俊(SAITO, Fumitoshi) | 前期 | 金曜：2限 | |
| 講義題目 Title | 近代翻訳語法の研究 | | | |
| 単位 Credit | 2 | | | |
| 備考 Others | 専修 | | | |
| 履修条件 注意事項 Requirements for registration | 実際の授業の進め方については、受講生の所属や専門に応じて、柔軟に対応していく部分もある。 | | | |
| 授業の目的 Purpose | <p>翻訳という行為によって生じた表現や語法、語彙について、実際の資料にあたって調査していくことにより、日本語への理解を深める。また、それによって、「国語」という科目を教授していく上での専門的な知識を修得することを目指す。</p> <p>This seminar examines ways of understanding and analyzing the history of translation in Japan through reading and discussing relevant thesis.</p> | | | |
| 授業の内容 授業の方法 Content | <p>まず、近代初期までの日本における翻訳の歴史をたどり、その中で用いられてきた表現や語法についての理解を深める。次に、テキスト『翻訳語成立事情』にとりあげられている、「社会」「個人」「近代」「美」「恋愛」「存在」「自然」「権利」「自由」「彼、彼女」の10語を題材として、実際に自分でも調査することにより、翻訳語の成立と定着の過程を理解する。</p> <p>授業計画 第1回：翻訳と日本語（ガイダンス） 第2回：漢文訓読と日本語 第3回：白話小説（唐話辞書）と日本語 第4回：蘭学・英学と日本語 第5回：明治初期翻訳小説と日本語 第6回：翻訳語「社会」 第7回：翻訳語「個人」 第8回：翻訳語「近代」 第9回：翻訳語「美」 第10回：翻訳語「恋愛」 第11回：翻訳語「存在」 第12回：翻訳語「自然」 第13回：翻訳語「権利」 第14回：翻訳語「自由」 第15回：翻訳語「彼、彼女」</p> | | | |
| 教科書 テキスト Textbooks | 柳父章（1982）『翻訳語成立事情』岩波新書（黄版189） | | | |
| 参考書 References | <p>李 漢燮(2010)『近代漢語研究文献目録』東京堂出版 佐藤 亨(2007)『幕末明治初期漢語辞典』明治書院 惣郷正明・飛田 良文(1986)『明治のことば辞典』東京堂出版 小田切文洋(2008)『江戸明治唐話用例辞典』笠間書院 森岡健二(1999)『欧文訓読の研究』明治書院 沈国威(2008)『近代日中語彙交流史(改訂新版)』笠間書院 その他、講義の中で紹介していく。</p> | | | |

| | |
|--|---|
| 受講生の 自宅学習 Preparation and review | 全員、発表で扱われる語について、自分の興味・関心のあることがらについて調べておくこと。 |
| 成績評価の 方法と基準 Evaluation | 発表内容（40%）、学期末論文（40%）、授業中の発言（20%） |
| 連絡方法 Contact information | メールなどで連絡があれば随時対応する。 |